

三鷹市教育委員会 様

校長 五味川 直季
(公印省略)

令和7年度 にしみたか学園 三鷹市立第二小学校 学園・学校評価報告書

標記の件について、下記のとおりご報告いたします。

記

学園評価 ※学園内で統一記述				学校評価 ※学校ごとに記述											
※今年度、明らかになった課題のうち、特に次年度の重点とする重点課題		※来年度の重点課題を解決するための改善策		※今年度、明らかになった課題(学校関係者評価を経て記述)		※来年度の改善策(学校関係者評価を経て記述)									
<p>・小・中一貫コミュニティ・スクールの改定、にしみたか開園20周年に伴う取組</p> <p>①小・中一貫教育の再評価、再確認。</p> <p>②スクール・コミュニティのさらなる活性化</p> <p>・自ら考え行動できる児童・生徒の育成</p>				<p>・学園研究を中心に、小・中一貫教育の再評価、再確認を行う。</p> <p>・地域とのふれあい、地域の協力の良さをクローズアップし、教職員にも伝えていく。</p> <p>・児童・生徒代表者会議を中心に、学園の取組に児童・生徒の意見を生かす機会を増やしていく。(20周年記念集会、デジタルシティズンシップの取組、アクションプランのブラッシュアップ等)</p>				<p>・小・中一貫コミュニティ・スクールの良さ、強みを持続させていくこと。</p> <p>・取り組んでいる様々な取組について、地域からわかりにくいところがある。</p> <p>・アクションプランのブラッシュアップが必要である。</p> <p>・子どもの居場所づくり、地域人財の活用について、さらなる改善が必要。</p> <p>・働き方改革について、一定の効果はあるがさらなる改革が必要。</p>				<p>・現在の取組の意義、効果を確認、アピールしながら取組を進める。</p> <p>・学力向上の取組や教職員の学び合い等を地域にもアピールする。</p> <p>・児童、生徒の意見を生かし、アクションプランを改善する。</p> <p>・放課後自習室の開設、人財を生かした授業を推進していく。</p> <p>・時短だけに目を向けず、働き甲斐の追究、教育効果が上がる取組の実践を進めていく。</p>			
取組項目	今年度の重点目標	成果	課題	改善策	取組項目	学校の経営目標(中期目標)	今年度の重点目標(単年度目標)	今年度の重点目標を達成するための具体的方策	自己評価			学校関係者評価			
									取組	成果	所見				
「人間力」「社会力」の育成	コミュニティ・スクールの運営	<p>・小・中一貫コミュニティ・スクールの取組の意図や目的の共通理解の促進。地域、保護者へのアピール。</p> <p>・地域との交流の活性化。</p>	<p>・年度当初に全教職員に小・中一貫コミュニティ・スクールの取組の意図や目的の共通理解の促進。地域、保護者へのアピール。</p> <p>・「三鷹の教育」で、コミュニティ・スクールの良さを発信することができた。</p>	<p>・来年度、学園研究を中心に小・中一貫についての再評価、再確認を行う。</p> <p>・教職員自身が地域とのふれあいを楽しみ、感謝の気持ちを素直に伝えていけるようにする。</p>	コミュニティ・スクールの運営	<p>・小・中一貫コミュニティ・スクールの良さの共通理解、アピールの再発見</p> <p>・スクールコミュニティの活性化</p>	<p>・小・中一貫コミュニティ・スクールの良さの共通理解、アピールの再発見</p> <p>・あささんネット主催の地域交流の活性化</p>	<p>・子ども・地域・保護者・教職員がつながる機会を増やしていく。</p> <p>・地域交流(焚火)の充実、地域・保護者人財の協力機会増、三校児童・生徒・教員同士の交流の深化</p>	4	4	<p>・CS委員会、地域との良好な関係があり、積極的に教職員に声をかけてくださることや様々な場面でのご助言に感謝する意見が多かった。</p> <p>・焚火やカフェが、地域と教職員、子どもたちのつながりを深めていた。</p> <p>・三鷹市の他地域と比べても、地域と学校が温かい関係でつながっているという意見もあった。</p> <p>・三校の児童・生徒が関わることで中学校への見通しにつながっている。</p> <p>・小・中一貫コミュニティ・スクールの良さのアピールは引き続き必要である。</p>	関係者の評価がしっかりと生かされているのが良い。 <p>もっと満足してもらうにはどうしたら良いか。</p> <p>人と人に繋がりが良い結果に繋がったと感じる。</p> <p>この関係が当たり前にならないように今後も繋がりを大切にしていきたい。</p>			
	小・中一貫教育の推進	<p>・小・中一貫カリキュラムの改善</p> <p>・学園研究で主に特別活動を中心とした話し合い活動の9年間の系統性を構築する。</p> <p>・三校交流、乗り入れ授業の活性化。</p>	<p>・小・中一貫カリキュラムについては今年度の修正はほぼ終了している。</p> <p>・特別活動(2)、(3)について学園で理解を深め、実践することができた。</p> <p>・小・小、小・中・中の交流が活発に行われた。</p>	<p>・一貫カリキュラムの活用をより促進したい。</p> <p>・築き上げた特別活動の取組を、今後も続けていきたい。</p> <p>・乗り入れ授業の英語講師の確保が課題である。</p>	<p>・研究推進委員会を中心に、教員から活用に向けてのアイデアを集める。</p> <p>・特別活動の取組を来年度以降も続けていく。</p> <p>・講師を確保し、乗り入れ授業を充実させていく。</p>	小・中一貫教育活動として	<p>・今年度の取組や実態に合わせて、小・中一貫カリキュラムを改善していく。</p> <p>・学園研究をもとに、話し合い活動の9年間の系統性を構築する。</p> <p>・小・小、小・中・中の交流を活性化させる。</p>	<p>・話し合い活動を学活だけでなく、各教科の学びや学校生活の中でも生かしていく。</p> <p>・取組や実態に照らし合わせ、小・中一貫カリキュラムの改善を行う。</p> <p>・三校の交流の意義や目的を確認し、より有意義な交流を模索する。</p>	<p>・学園研究を軸に、話し合い活動の取組を進めていく。取組を校内で共有する。</p> <p>・小・中一貫カリキュラムを見直す際、取組や実態をもとに振り返りを行う。</p> <p>・同学年の交流の充実(小・小)、中学生ボランティアの活用を進める。</p>	3	3	<p>・中学生との交流、小学校同士の交流に実際に取り組んでみて、児童間、教師間の仲の深まりや情報共有の良さを感じた教職員が増えた。</p> <p>・学園研究で特別活動の9年間の系統性の認識を、小・中一貫カリキュラムの改善に活かすことができた。</p> <p>・他地区より仕事量が増えているのではないかと指摘も若干あった。一貫のメリットを感じられるようにしていきたい。</p>	<p>・三鷹市の他地域と比べても、地域と学校が温かい関係でつながっているという意見もあった。</p> <p>・三校の児童・生徒が関わることで中学校への見通しにつながっている。</p> <p>・小・中一貫コミュニティ・スクールの良さのアピールは引き続き必要である。</p>		
	三鷹の子どもの育てる教育活動の充実	<p>・主体的・対話的で深い学びの推進。</p> <p>・個別最適な学び、協働的な学びの推進。(ICTの活用、授業のUD化等)</p> <p>・三鷹市小・中一貫カリキュラム、教員同士の学び合い、学園研究の取組による授業力の向上。</p>	<p>・学園研究の特別活動を中心とした話し合い活動の取組は、他教科の話し合い活動にも良い効果をもたらした。特に中学校の研究授業では、いくつかの教科の話し合い活動を特別活動の視点で追究することで、教科を横断して特別活動的な視点をもつ大切さを学園内で共有することができた。</p>	<p>・学園内で授業を見合う風土づくりに着手した。少しずつ学校の枠を超えて日常的に学び合う姿が見られるようになったが、まだ十分とは言えない。</p> <p>・UDについて学園内で工夫を共有する機会が少なかった。</p>	<p>・1学期から積極的に各校で行われる授業の紹介をし、学び合いの機会を増やしていく。</p> <p>・自校以外の学校に行った際には、各校のUDの工夫などを確認するようにする。</p>	(知) 確かな学力	<p>・主体的・対話的で深い学びの推進。(楽しい授業)</p> <p>・個別最適な学び、協働的な学びの推進。</p> <p>・授業力の向上。</p>	<p>・話し合い活動を活用した、主体的・対話的で深い学びの推進。</p> <p>・個別最適な学び、協働的な学びの推進を念頭に置いたICTの活用、授業のUD化。</p> <p>・一貫カリキュラム、教員同士の学び合い、学園研究・校内研究の取組による授業力の向上。(楽しい授業づくり)</p>	<p>・学園研究、校内研究を軸に、他教科や学校生活で話し合い活動に取り組み、主体的・対話的で深い学びを実現していく。</p> <p>・新しいアプリ、機器の導入に伴い、より効果的な使い方の情報共有を校内で行う。</p> <p>・教員が授業を見合い、意見を交換できる機会を増やしていく。</p>	3	3	<p>・特別活動を中心に、話し合い活動の研究を進める中で、対話的な学びについての理解が深まった。</p> <p>・教師の指導レベルをもっと上げていく必要がある、という意見もあった。新しい学びに対応するため、研究を深めていく必要がある。</p> <p>・授業時間がしっかり確保できている。教職員も学ぼうという意欲が高く、若手の指導も手厚い。</p> <p>・教材研究の時間が十分に確保できないという意見もあった。</p>	二小内での学び合いをもう少し学び合えるようにしてほしい。→観察授業を見合えるシステムを行っている。後輩の授業を見て助言することができている。そのような取り組みをもう少し発信できるように。		
	<p>・話し合い活動の推進。</p> <p>・いじめの早期発見、早期解決。</p> <p>・デジタルシティズンシップ教育の推進。</p> <p>・非認知能力の育成。</p>	<p>・話し合い活動の研究や、自ら考え行動する機会づくり(委員会、クラブ、部活動など)を深めていくことは、クラスづくり、学年づくり、学校づくりにつながった。</p> <p>・アクションプランの目標設定や振り返りも、子どもの主体性を育てることにつながっている。</p>	<p>・学園での特別活動の研究は今年度で終わりにする。培ってきた話し合い活動の力を来年度以降も持続させることが課題。</p> <p>・デジタル・シティズンシップについて、各校ごとの取組は進んだが、学園内で共有する時間が取れなかった。</p>	<p>・特別活動の取組を今後も丁寧に続けていく。</p> <p>・デジタル・シティズンシップの取組を学園の児童生徒で話し合う機会を年度当初に計画する。</p>	(徳) 豊かな心	<p>・話し合い活動の推進</p> <p>・いじめの早期発見、早期解決。</p> <p>・思いやりの醸成</p> <p>・デジタルシティズンシップ教育の推進</p> <p>・非認知能力の育成</p>	<p>・話し合い活動に取り組む中で、主体性、自律の心を養う。</p> <p>・校内委員会を軸にしたチーム対応。思いやりの醸成。</p> <p>・デジタルシティズンシップ教育の推進。</p> <p>・非認知能力の育成。</p>	<p>・日常の観察のみならず、ふれあい月間、QU、全員面談等で、子ども間のトラブルを早期発見し、校内委員会やチーム対応を行う。</p> <p>・主体性、自律の心を育てていくために、授業や学校生活内で、自ら考え、自己選択する機会を増やしていく。アクションプランをもとにキャリアパスポートを活用し、定期的に「目標設定」、「振り返り」を行う。</p>	3	3	<p>・ふれあい月間、キャリアパスポートなどの取組のおかげで、子どもたちが自己の成長を実感できるようになっている。</p> <p>・それぞれの取組がただやるだけ終わらないよう、取組の意義や効果についてしっかり確認し合ってきた。</p> <p>・小小の交流や異学年交流を通じて、協力関係が築かれている。後しく友達を認め合う空気感が感じられる。</p>	キャリアパスポートの振り返りはいつ学期終わりや行事終わりに行っている。目標を忘れてしまっている場合もあるので、定期的に振り返る必要がある。書いた時点で観と共有する必要がある。アクションプラン、子どもが本で行いたいものにする。			
	<p>・体力の向上</p> <p>・基本的生活習慣の確立</p> <p>・食育の推進</p>	<p>・体力向上、基本的生活習慣の確立、食育の推進に向けての取組は、各校それぞれの担当が中心となり進んでおり、児童・生徒の意識は高まっている。</p>	<p>・各校の取組はそれぞれ進んでいるが、学園内で情報交換やノウハウの共有が少ない。</p>	<p>・各校の担当で、それぞれの取組やノウハウの共有を行う工夫をしていく。特に地域と連携した取組については積極的に情報交換を行う。</p>	(体) 健康・体力	<p>・体力の向上、日常的な習慣作り。</p> <p>・食育の推進。</p>	<p>・体力の向上に向けた授業づくり(楽しい体育)、日常的な習慣作り。</p> <p>・食の大切さ、健康に対する関心や意識を高める食育の推進。</p>	<p>・体育を専門にする教員中心に楽しい授業づくりのための学び合いを行う。</p> <p>・食育担当、給食委員会を中心に、自らの食を振り返る取組を行う。</p>	3	3	<p>・体育に長けている教職員が多く、校内でしっかりOJTができている。子どもたちの前向きさにもつながっている。</p> <p>・体力向上の取組にも積極的に取り組み、授業改善、日常の運動にもつながっている。</p> <p>・地域のスポーツクラブとの連携や、体力テストのデータ活用については今後模索していきたい。</p> <p>・食育の取組で、重要性について改めて考えることができた。</p>	柔軟性を高める運動を取り入れることに賛成。運動場の広さを有効活用して体力向上してほしい。4年生から登山がいい。アレルギー対応よくやっていて感謝している。			
	特色ある教育活動	<p>・キャリア・アントレプレナーシップ教育の推進</p> <p>・自ら考え行動し、未来を切り開いていける子どもの育成</p> <p>・子どもの居場所づくりの推進</p>	<p>・キャリア・アントレプレナーシップ教育については、地域のアイデアも参考にし、子どもたちに職業だけでなく、大人になってからの生き方全般について考えさせる良い機会となった。</p> <p>・子どもの居場所づくりについては、小学校2校の放課後開放が週5回となり、順調に利用が伸びている。</p> <p>・学園の関わる会議にオンラインを取り入れたり、チャットを活用して情報交換をしたりする中で、会議の負担感を軽減することができた。</p> <p>・助け合い、支え合う職場づくり、地域・保護者のご協力もあり、働きやすい環境づくりは各校で進んでいる。</p>	<p>・児童・生徒代表者会議については、十分な時間が取れず、意見を生かす機会が少ない。</p> <p>・キャリア・アントレプレナーシップ教育については、9年間を見通した内容のブラッシュアップ、取組の意義についての教員間の共通理解が必要になる。</p>	特色ある教育活動	<p>・地域とともに子どもを育てる教育の推進</p> <p>・子どもの居場所づくりの推進</p>	<p>・授業や行事において、積極的に地域、保護者人財を活用していく。</p> <p>・今年度から週5実施になる放課後子ども教室のスムーズな立ち上げを目指す。</p>	<p>・未来塾や桜子ども広場など、地域と一体となって学校3部制を推進することができた。</p> <p>・行事や普段の授業、放課後も含め、地域の方々がたくさん助けてくださり、感謝している。</p> <p>・総合的な学習の時間にCS委員会の方々に講師を務めていただき、大きな教育的成果をあげることができた。</p>	4	4	<p>・互いに協力できる、同じ方向を向いて働くことができる、相談しやすい働きやすい環境になっている。</p> <p>・会議の時間短縮は一定の効果があった。</p> <p>・仕事量の多さについての指摘がいくつかあった。業務、元々の仕事量が多すぎる等)</p> <p>・休憩時間が取りにくいという指摘もあった。</p> <p>・システムだけでなく、一人一人の意識改革が必要であるという意見も見られた。</p> <p>・担当している業務の改善案もいくつか出ているので、生かせるものは生かしていきたい。</p>	今後もこのまま連携して行って欲しい。学校からの感謝の思いは伝わってくる。非常に嬉しい。			
喫緊の課題	維持向上を目指す学校改革	<p>・退勤目標時間の設定、ノー残業デー等の設定</p> <p>・タイムマネジメント能力の育成</p> <p>・働きがい、働きやすさを念頭に置いた改革</p>	<p>・人材不足の傾向は続いており、各校に影響が出ている。</p> <p>・教師の取組について、成果のわかるものは提示、紹介を積極的にしている。</p>	<p>・人材については、早めの把握、対応を心掛け、他校とも情報共有を行う。</p> <p>・教師の取組について、成果のわかるものは提示、紹介を積極的にしている。</p>	働き方改革	<p>・勤務時間の見直し・マネジメントの推進</p> <p>・働きやすい職場環境の構築</p>	<p>・個々の勤務状況の見直し・マネジメントの推進</p> <p>・働きやすい職場づくり</p>	<p>・自らの勤務状況を改めて見直すとともに、チームでマネジメントに取り組む。マイプレミアムデーの取組を行う。</p> <p>・チーム力を強化し、ノウハウの共有や助け合いを行い、働きやすい環境づくりを推進する。</p>	3	3	<p>ICTの有効活用 会議の精選 教育効果が上がる取組を。→できるだけ実践していきたい。</p> <p>保護者対応で時間がかかっているのでは。その負担は軽減してほしい。本当に時間だけの問題なのか。教育の意図、目的を再確認し、今後も子供達のために尽力を。</p>				